

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名:川崎市子ども発達・相談センター かもみーるさいわい

保護者等数(児童数): 33名 回収数: 31名 割合: 94%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	31	0	0	0	・集まりと運動のスペースが十分に確保されている	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	30	0	0	1	・ちょうどいい人数。 ・充実していたと思う	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	28	2	0	1	・分かりやすい空間	・お子さんの適性や年齢に合った遊具を揃え環境に配慮していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	31	0	0	0	・いつも清潔	・これからも日々の清掃、消毒を実施し清潔を保ちます
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	31	0	0	0	・十分	・お子さんと保護者のニーズに合わせた支援計画を作成します
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	24	1	0	6	・言葉の促しは十分にしてもらった	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	28	1	0	2	・言葉の促しは身振りを加えながら十分してもらったが、コロナ禍のマスクの影響で子どもにとっては難しい状況だと痛感した ・通所児童に対して画一的な支援が主であると感じた	・個々に合わせた支援を行って います ・同じ活動内容でも個々のねらいの違い等を保護者にわかりやすく説明していきます
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	29	1	0	1	・更にバリエーションが増えると面白いと思う ・手遊びや歌は毎回工夫されていると思う	・これからもお子さんが楽しめる活動やバリエーションを増やしていきます
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	3	4	15	・接する機会があればより楽しめたと思う	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	31	0	0	0	・定期的に説明されていた	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	28	0	0	3	・十分説明されていた	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	19	2	2	8	・子どもの特性を活かした褒め方を学べた	・活動場面の他クラス懇談会や両親面談を通して家庭支援を行っています
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	30	1	0	0	・活動の度に子どもの状況を話す機会があり良かった ・細かく課題とアドバイスをもらった	
適切な 支援の 提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	30	1	0	0	・具体的に助言をもらった ・保護者に対する助言という観点での話はあまりしなかった	・保護者に対してお子さんに対する具体的な関わり等丁寧に伝えていきます
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	4	8	15	・保護者同士のつながりがもっとあれば情報共有がより出来たと思う	・今後クラス懇談会等を通して保護者同士が関われる機会をつくっていきます
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	27	0	0	4	・幼稚園選びについては色々とお話をもらい助かった	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	30	1	0	0	・適度な配慮がある	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	9	4	2	16	・行動予定は毎回小まめにプリントで伝えられているが、会報等があればより良いと思う	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	30	0	0	1	・十分注意されている	・今後も個人情報の取扱いには十分注意していきます
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	16	4	2	9	・感染症対策として活動中のマスクや手洗いがもう少し必要だと感じる	・室内に水道がないためウェットシートで代用しました マスク着用についてはお子様の状況により着用できないこともありました
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	6	4	2	19	・限られた時間の中で行うのは難しい	・年二回の消防訓練は実施しました
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	27	4	0	0	・火曜日をとても楽しみにしている様です ・先生との遊び、友だちとのふれあいが楽しかった様です ・毎回とても楽しみにしていて先生方の事が大好きだった様です ・子どもがとても成長したと思います、ご支援ありがとうございました	・今後もお子さんが楽しめるようプログラムを工夫していきます
	23 事業所の支援に満足している	30	1	0	0	・長期間(4か月以上)利用できるとう嬉しかった ・ずっと利用したかった ・出来た事を褒めてもらったことで自己肯定感が上がり自信がついてきた様です ・本当に優しく、親子共々救われました ・全体的には子どもにとって良い経験になったように思う	・事業所の性質上三ヶ月の期間限定となっております ・必要に応じて民間児発等の紹介を行っています

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月31 日

事業所名: 川崎市子ども発達・相談センター かもみーるさいわい

職員数: 5名 回収数: 5 回答率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・机上遊び等と運動的な遊びの部屋を分けてメリハリをつけるようにしました	・最大受け入れ人数親子10組が安全に過ごせるように更なる工夫をしています
	2	職員の配置数は適切である		5	・職員が協力し合い運営を行ってきました	・今後適切な職員配置ができるようにしていきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・プログラムは写真を提示する 等見通しが持てるように示してきました	・個々に合わせたスケジュールの定時を行ってきました今後も園子に合った対応をしていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・日々の清掃、遊具の消毒を行い衛生面に配慮してきました	・今後も衛生面に気をつけ清掃、消毒を行っていきます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・日々のクラス運営、支援内等業務全般について振り返り、意見交換を行っています	・今後も職員のコミュニケーションが良くとれるよう情報共有をしていきます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・保護者からの意見は真摯に受け止め業務改善を行ってきました	・更なるよりよい事業所運営に努めていきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・保護者向け評価は契約終了 時概ね三ヶ月、事業所向け は年一回実施しました	・年度末に結果を取りまとめ法人のホームページを利用して情報公開をしています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		・今年度はコンプライアンスチェックを受けました	・コンプライアンスチェックで指摘された点については今後業務改善を行っていきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・療育センターの研修に加え内部研修を月一回行ってきました	・今後も継続して取り組んでいきます
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・アセスメントシートを作成し見学、体験をした上で計画を作成しています	・具体的でわかりやすい計画作成を行っていきます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・相談支援の段階で適応コードを図る検査を実施しています	・数値化できる評価を用いて、変化を捉えるようにしていきます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・発達支援と家族支援を軸にした支援内容を実施しています	・より良い支援内容となるよう努力していきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・支援計画会議を行い、共通認識を持って支援を行っています	・今後も職員全員が共通認識を持ち行っていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・話し合いをもとに担当が活動プログラムを作成しています	・計画的に活動できるよう今後も取り組んでいきます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・利用時の状況に応じて活動内容が固定化しないよう工夫しています	・充実したプログラムの内容になるように努めていきます
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		・一人ひとりの発達に応じて個別と集団の課題を支援計画に入れていきます	・今後も個別と集団の両方の活動を取り入れた計画の作成を行っていきます
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・当日のプログラムに基づき打ち合わせを行い確認しています	・今後も取り組んでいきます
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・振り返りを行い、意見交換と情報共有を行っています	・振り返りの充実を図り療育に活かしていきます
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・記録は当日記入しています	・支援内容について検証を行い、振り返りをして改善につなげていきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・三か月後にモニタリングを必ず行っています	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児発管が会議に参加しています	・今後も会議に参加をしていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	・関係機関と連携しています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・訪問支援担当者が園訪問を実施しました	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		・療育センターや民間児発と連携しました	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・母子療育場面の他、電話相談、両親面談等で話をし共通理解を持ちました	・今後も必要に応じて対応していきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		・お子さんの理解、対応方法について保護者と共有するよう努めています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に丁寧に行っています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・個々に応じた支援計画を作成し、面談時に丁寧な説明を行い、同意を得ています	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・随時相談に応じ、必要な助言と支援を行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・保護者会はありませんがクラス懇談会等は実施しました	・保護者同士の連携を図れる場を設定していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・随時相談に応じ、必要な助言と支援を行っています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・当日のプログラムとねらいを配布し、お知らせしています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・守秘義務を順守しています 個人情報は鍵のかかる場所に保管しています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・職員が共通認識を持ち必要に応じて個別に対応しています	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・「運営規定等の重要事項」の中に規定されており自由に閲覧できるように設置しています	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・年二回の消防訓練を実施しました	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・お子さんの健康状態の把握をして職員間で共有しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	・食事の機会は設けていません	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・ヒヤリハットの事例を職員間で共有し、今後の対策を検討しました	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・療育センターの研修部参加しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		5	・契約時に保護者に対して身体拘束に関する説明を行いました	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。